



きよせ市議会だより

平成20年度一般会計予算 賛成多数で可決

平成20年
第1回定例会

平成20年第1回定例会は、3月3日(月)から27日(木)までの25日間の会期で開きました。

今定例会では、平成20年度清瀬市一般会計予算及び国民健康保険事業、老人保健医療、下水道事業、駐車場事業、介護保険、後期高齢者医療、受託水道事業の各特別会計予算等並びに市長提出議案30件、議員提出議案(決議・意見書)8件、報告1件、市民の皆さまから提出された陳情4件を審議しました。

なお、平成20年度清瀬市一般会計予算については、予算特別委員会を設置し、3月11日(火)・3月12日(水)・3月13日(木)の3日間審査しました。また、その他の議案につきましても各常任委員会及び議会運営委員会で審査しました。提出された議案等の審議結果については、6面に掲載しています。



春らんまんの柳瀬川

平成20年度予算のあらまし

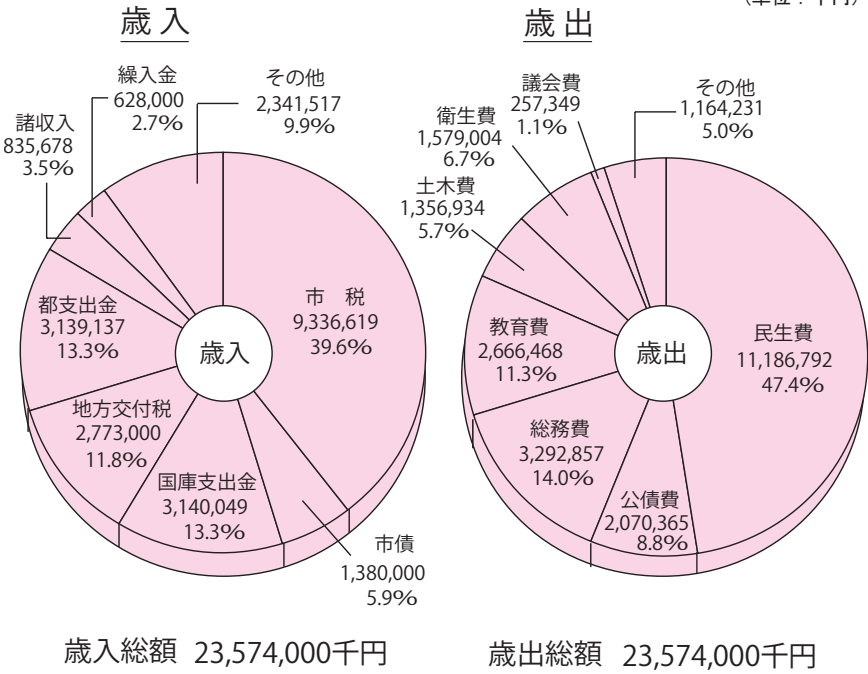
平成20年度予算は、定年退職者の増加や住宅ローン控除の新設などにより歳入の要である市税収入は、前年度と比較すると僅かな伸びに留まり、また、地方交付税も前年度より大きく減となる見込みであり、市財政を取り巻く環境は、非常に厳しい状況にあります。

このような状況の中、安心して住めるまちを目指す取り組み、人づくりを進める施策、活気ある協働のまちの推進、みどりの保全・快適住環境都市への取り組みなど、将来を見据えたまちづくりに取り組んでいくための予算を計上しております。

平成20年度一般会計の予算規模は、前年度と比較すると率で4.5%増の23億7千400万円となっておりますが、安心して住めるまちを目指す取り組みとして、学校体育館の耐震化、太陽光発電機器設置助成、放課後子ども教室の増設、妊婦健康診査など、人づくりを進める施策として、義務教育就学児医療費助成、学力向上アクションプラン、子どもの発達支援・交流センター整備、活気ある協働のまちの推進として、ひまわり推進助成、新・元気をだせ！商店街事業、清瀬東高校跡地購入など、清瀬市民センター再整備、野塩地域市民センターのエレベーター設置など、みどりの保全・快適住環境都市への取り組みとして、台田の杜遊歩道整備、花のあるまちづくり事業などの予算化を図っております。また、特別会計では、新たに後期高齢者医療特別会計が制定され予算化されたものの特別会計全体では大幅な減により、全体では前年度と比べて率で21.4%減の15億4千770万円となっております。

一般会計歳入歳出予算構成表

(単位：千円)



平成20年度 一般会計予算討論要旨

反対討論 日本共産党

日本共産党は、市長に市民の家計を守るために市民税等の軽減や、広く市民生活を支援する施策の実施を求めてきました。

新年度予算に盛り込まれた30歳以上の無料の市民健診の継続や、妊婦健診の無料化拡大、木造住宅の耐震診断への助成などは評価できるものです。

賛成討論 清瀬市民クラブ

「水と緑のまちづくり」に呼応し約20億円の資産を市に寄付してくださった伊東さんと星野市政の信頼関係が「台田の杜」を実現した。これは大変な市民の財産である。また、新小金井街道と東3・4・13号線が来年開通すれば利便性が高まり、まちは発展する。また、旧清瀬東高校約2万7千㎡が10億円で市民協働のステージにできるならばこれも、また、市民財産だ。10万本のひまわりイベントはひまわり通りを将来ひまわり周回道とするだろう。発達支援・交流センターは我が清瀬の子育て力、子育て力を飛躍的に高める。小中の全体育館耐震化完了は清瀬の安全・安心を大きく前進させる。行財政改革の成果である。実績を評価し賛成する。

反対討論 自由民権

今議会の予算には、旧清瀬東高校の跡地と建物の購入費を計上していますが、購入に反対します。その購入費に、貴重な財産である旧第九小学校の用地を売却して充てることは、取るべき行為ではありません。下水道料金と保育料が値上げされ、医療保険・介護保険の負担が増えています。市民は、このままでは生活が維持できなくなるべきです。

賛成討論 風

新年度事業では、台田の杜の整備などみどりの保全や、子どもの発達支援・交流センターの整備、子育て支援など評価します。今後、も行革の着実な実行と、後期基本計画の策定など未来を見据えたまちづくりに期待します。